

第5回改善検証会議 議事録

1. 日 時 2008年3月11日(火) 15:50~16:30
2. 場 所 (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所 総合事務所
兵庫県加古川市金沢町1
3. 出席者

兵庫県	環境担当部長	垣内 秀敏 殿
	環境管理局長	菊井 順一 殿
	東播磨県民局長	大鳥 裕士 殿
加古川市	副市長	藤原 崇 殿
	環境部長	大濱 俊 殿
(株)神戸製鋼所	専務執行役員加古川製鉄所長	大西 功一
	常務執行役員	吉田 達樹
	執行役員鉄鋼部門技術総括部長	川崎 博也

他、随行者、事務局

4. 内 容

4. 1 挨拶

【神戸製鋼所】

ばい煙問題等の再発防止策について、環境管理・監査機能の強化、作業標準類の整備と教育の充実、設備・技術対策並びに情報公開といった視点に立って、具体策を立案・実行し、都度、PDCAのサイクルを廻しながら進めてきました。対策に長期間を要するものが残っているものの、約束した項目の大部分が完了するに至り、昨年12月の改善検証会議にて、今回を最終回とするとのお言葉を頂きました。今まで、改善検証会議を初め、6号ボイラ立上げ時の立会い、協定改定等、多大なるご支援、ご指導を頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

特に懸案となっております粉じん対策については、対策効果の予測値の実現にむけて織り込んだ当初の項目を完了しました。目指した目標を達成できるものと考えておりますが、さらに発生源抑制の努力を継続してまいります。

一方、地域の方々等からのご意見を伺うフリーダイヤルについては、受付件数が大幅に減少しているとはいえ、更なる努力と、改善された状態を継続していく姿勢が求められているものと受け止めています。

今回の改善検証会議では、今までの対策を総括する形で説明いたします。今後ともPDCAを廻しながら、行政や、地域の皆様をはじめとするステークホルダーに信頼される企業として、次の時代をリードすべく、粉じん対策のみならず、環境管理の向上を図ってまいります。

本日は、忌憚のないご意見を頂戴いたしたく、宜しく願いいたします。

4. 2 取り組み状況等の総括

1) 加古川製鉄所の取り組みについて

計画した対策は予定通り進捗している。

- ①テレメート規程の見直しを実施中であり、今月末をもって、組織・規程に関する対策は全て完了する。
- ②前回報告以降、ベルトコンベアの密閉化・乗り継ぎ部への集塵機増設を行い、対策効果の予測値の実現にむけて織り込んだ当初の項目を完了した。また、降下ばいじんの製鉄所影響値の実績値を説明した。
- ③冷延連続焼鈍設備の NOx 低減対策の状況等について説明した。ボイラの自動燃焼制御化、低 NOx バーナ導入も、定期検査に合わせて、順次完了する。

2) 総括

これまで実施してきた、教育、組織・規程、設備・技術等の取り組みを総括した。

4. 3 討議

兵庫県より、来年度からの降下ばいじんの目標（対策効果の予測値）を達成する上で、気象条件の影響についてどう考えているのか質問があった。弊社から、降下ばいじん量は、南風の頻度に強く影響を受けるため、南風頻度が高かった 2005 年の条件で対策効果を評価したことを説明した。また、防じんネットについては見込んだとおりの約 0.3 トン/km²/月の削減効果が得られており、防風ネットについても、北風ではあるが風速を約 60%減少させることを既に確認している旨回答した。

4. 4 おわりに

今回の開催をもって改善検証会議を終了とすることで委員全員の合意を得た。

会議終了に際し、兵庫県から、

「改善検証会議は今回で 5 回目となった。ばい煙問題の発生から 2 年近くも経過した。今回の報告で改めて、約束通り計画が実行されていることが確認できた。今後とも地域に開かれた企業として、既に発足している環境保全協議会等を通じて引き続き努力して欲しい。また、今後の粉じん対策の評価次第では、原料ヤードの建屋化も将来の検討事項であることを忘れないで欲しい。一方、社会的責任の観点から、地球環境問題にも幅広く取り組んで欲しい。最後に、これまでの加古川市と神戸製鋼所の努力に敬意と感謝を表したい。」とご挨拶を頂いた。

加古川市から、

「一昨年、地域の一大問題となり、加古川市としても地域で環境を考え直す機会となった。神戸製鋼には計画どおり対策を実施して頂いている。残った対策も、来年度にはほぼ完了する見込みであり、加古川市との連絡会や、環境保全協議会で引き続き検証していきたい。長い期間かかったが、人・物・金を使って、結果的に良いものとなったと感じている。粉じん対策の目標達成を 4 月以降注視していきたい。また、疫学調査の実施などは、長い眼で見守っていきたい。更なる市

民の信頼を得るために、教育の徹底を図り、安全で信頼される企業として発展して行って欲しい。兵庫県にもお世話になりました。お礼申し上げたい。」とご挨拶を頂いた。

最後に弊社から、

「地元の信頼を裏切る問題を起こしてしまったことに改めてお詫び申し上げます。再発防止策を着実に進めると共に、働く人間の安全と環境が生産より優先するという意識をもって取り組んできました。2008年度も安全・環境を重視して取り組みたいと思っています。2年間に亘る行政関係の皆様のご尽力に感謝申し上げますと共に、今後ともご助言等を宜しくお願い申し上げます。」と挨拶した。

以上